

JAの自己改革に関する組合員調査

アンケート結果



JAグループは、「自らの取り組みを検証し改革すべきは改革する」という考えに立ち、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ自己改革を推し進めて参りました。

当JAでは、これまでの取り組みについて組合員の皆さま方から評価をいただくために、平成30年10月から平成31年2月にかけてアンケート調査を実施させていただきました。組合員の皆さま方には、アンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

つきましては、調査結果について取りまとめましたので、3・4・5・6ページにてご報告させていただきます。



調査概要

- 実施期間 平成30年10月～平成31年2月
- 対象者
 - 正組合員 6,058人 うち回収 5,169
 - 准組合員 33,809人 うち回収 26,202
- 回収率 78.7%

自己改革の認知度

正組合員 准組合員

JAグループは以下の3つの基本目標掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。

JA自己改革 基本目標

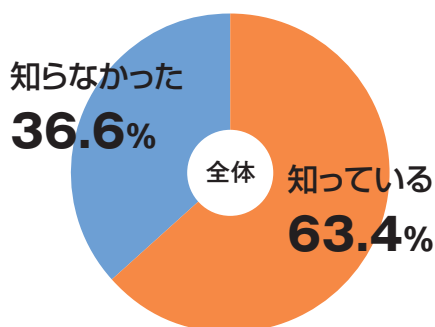
農業者の
所得増大

農業生産の
拡大

地域の活性化



Q こうしたJAの取り組みをご存知でしたか?(複数回答可)



- 総代会、集落座談会、生産部会の
会合などで知った 1.7%
- パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、
ホームページなどで知った 33.6%
- イベント(JAまつり、ローン相談会など)
やファーマーズマーケットで知った 7.4%
- JAの役職員から直接聞いて知った 26.6%
- その他の方法で知った 5.0%
- 知らなかった 36.3%

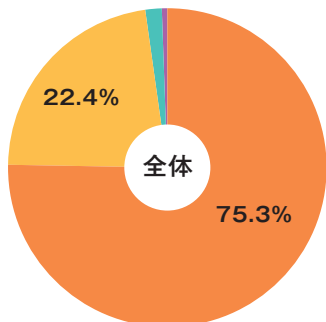


JAの総合事業

正組合員

准組合員

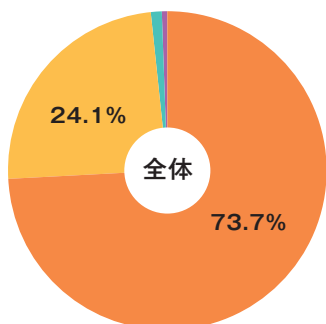
Q JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だとお感じになりますか？



- 必要な存在だと感じる75.3%
- どちらかといえば、必要な存在だと感じる22.4%
- どちらかといえば、必要な存在だと感じない1.9%
- 必要な存在だと感じない0.4%

97.7%の方が
JAは地域農業や暮らしに
必要であると感じています。

Q JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



- 総合事業は継続すべき73.7%
- どちらかといえば、総合事業は継続すべき24.1%
- どちらかといえば、農業関連事業特化すべき1.8%
- 農業関連事業のみに特化すべき0.4%

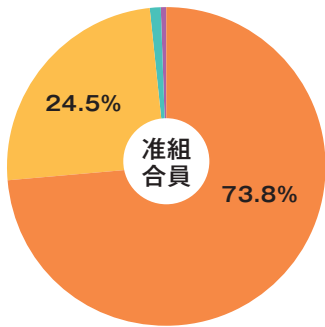
97.8%の方が
総合事業の継続を
望んでいます。



※上記は一例です。JAごとに実施している事業は異なります。

准組合員制度について

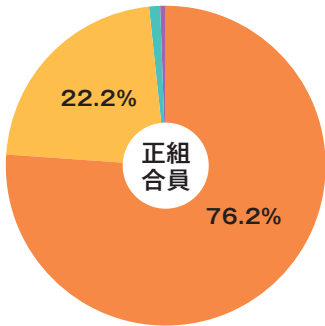
Q JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることで、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？ 准組合員



- 応援したいと思います……………73.8%
- どちらかといえば、応援したいと思います……………24.5%
- どちらかといえば、応援したくない……………1.4%
- 応援したくない……………0.3%

98.3%の方が農業やJAの活動を応援したい!と思っています。

Q 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)にとっても必要だと思いますか？ 正組合員

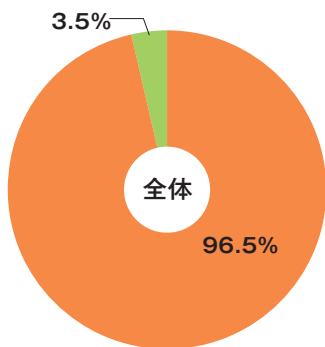


- 必要だと思う……………76.2%
- どちらかといえば、必要だと思う……………22.2%
- どちらかといえば、不要だと思う……………1.1%
- 不要だと思う……………0.5%

98.4%の正組合員の方が准組合員は必要な存在であると考えています。



Q 准組合員がJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？ 正組合員 准組合員



- これまでと同様、事業の利用は制限しないほうがよい……………96.5%
- 事業の利用は制限したほうが良い……………3.5%

9割以上の方が事業利用は制限しない方がよいと考えています。



JAの農業関連事業

正組合員

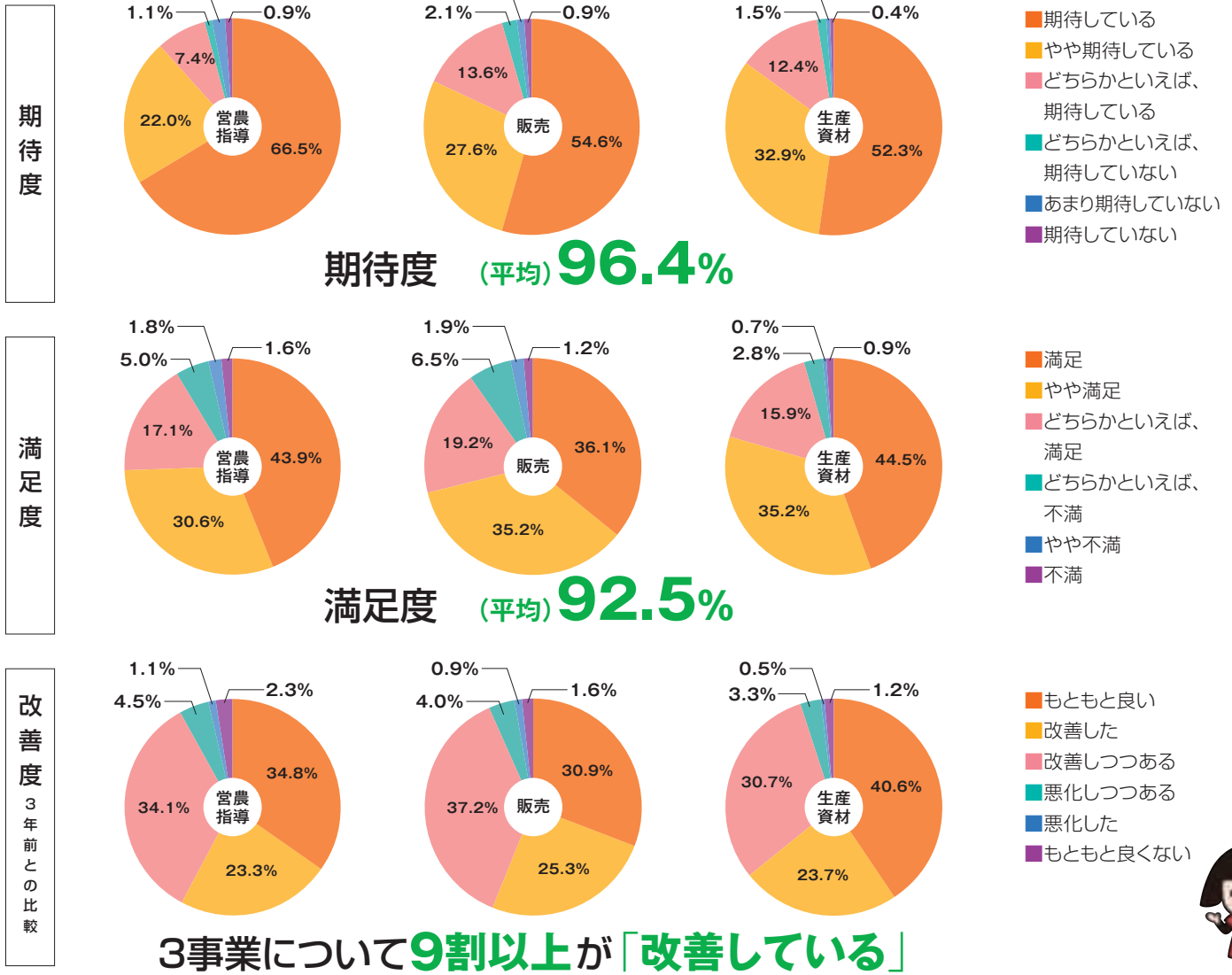
JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。



自己改革

- 1 営農指導事業 2 農畜産物販売事業 3 生産資材購買事業

Q それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。



アンケート結果のまとめ

自己改革の認知度
「知っている」が6割強に留まっており、対話運動や広報活動の更なる取り組みが必要であると感じております。

JAの総合事業
「JAの必要性」や「総合事業の継続」については必要である、持続すべきが9割以上となりました。JAは地域農業や暮らしに必要な存在であり、総合事業継続の期待度は大きいと感じております。

准組合員制度について
農業やJAの活動を応援したい准組合員の方、並びに、そうした准組合員の存在が必要である正組合員の方が9割以上となりました。准組合員の皆さま方が、JA事業を利用したり地域の農畜産物を食べることを通じて、正組合員とともに地域の農業とくらしを支える存在であるということ、引き続き地域の皆さま方にお伝えしていきたいと考えております。

JAの農業関連事業
3つの事業について3年前と比べ「改善している」が9割以上となりました。引き続き組合員の皆さま方のご期待に添える取り組みを進めていきたいと考えております。

調査結果を踏まえ、JAとうとは、地域の農業振興をはじめ組合員ならびに地域の皆さま方の生活設計や事業運営のお役に立てるよう、役職員一同努力してまいります。今後も一層のご支援、ご理解をお願い申し上げます。